

## ESG投資を通じたSDGs達成に向けた取組みについて ～「ソーシャルボンド」の購入～

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）は、ソーシャルボンド（独立行政法人国際協力機構発行）を購入しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

当行では、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みの一環として、ソーシャルボンドなどのESG債への投資を積極的に推進しております。

今後も、金融商品・サービスの提供を通じて、環境保全活動をはじめ、社会貢献活動に積極的に取り組む企業やお客様を支援してまいります。

### 記

#### ○購入したソーシャルボンド（※）の概要

|      |                 |
|------|-----------------|
| 発行体  | 独立行政法人国際協力機構    |
| 種類   | ソーシャルボンド        |
| 年限   | 10年             |
| 発行額  | 100億円           |
| 発行日  | 2020年9月28日      |
| 資金用途 | 開発途上国におけるインフラ整備 |

※ソーシャルボンドは、国際資本市場協会が定める「ソーシャルボンド原則」に則って発行された債券であり、基礎インフラ開発（上下水・衛生等）や社会サービス（健康・教育等）へのアクセス改善など、社会的課題への対応に資する事業への投資を目的としております。

#### 《本ソーシャルボンドに関連するSDGs》



#### SDGs

##### (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明しました。

以上

